



学校だより

令和 4年 2月 16日 No.10
福岡市立東福岡特別支援学校
文責 校長 野口 信介

来年度こそは皆さんと一緒にひがしフェスタを…



体育館でのフェスタ開会式 (高等部)



高等部サービス班: テイクアウト形式のカフェ



青葉校区からの受注商品

今年度も、「ひがしフェスタ」はコロナ禍の対応で児童生徒と教職員のみの参加で行うことといたしました。本来であれば、保護者の皆様に中学部・高等部の生徒が1年かけて取り組み制作した品物や学習の足跡、成長した生徒の姿を見ていただくよい機会となるのですが残念です。しかし、生徒の様子を見てみると、今自分にできることに精一杯取り組む姿が見られます。一人一人の表情から伺える自信が頼もしく感じるとともに、コロナ禍の厳しい状況の中でたくましく成長している姿に感動します。

その姿が通じたのか、今年度、「あおば男女共同参画推進会 30周年」の記念品として本校の中学部・高等部が作製した生活用品が選ばれました。納品に伺うと、地域の皆様もとても喜んでくださいました。本校の生徒の作品で30周年をお祝いすることができたことを誇りに思っているところです。

また、今回のフェスタでは、お子様が在籍している学部の保護者向けにカタログ販売も行いました。ご購入いただきました保護者の皆様ありがとうございました。

1月24日～28日は給食週間…食について考えました。



児童生徒がつくったポスター



栄養教諭の食育の学習

1月24日～28日は東福岡特別支援学校の給食週間でした。本校では、クラス毎に給食室の先生方へ感謝の心を込めてポスターをつくりました。ポスターを受け取った給食室の先生や給食公社の方々には子どもたちの気持ちに対して笑顔で応えていました。また、児童生徒は、「食べ物の働き」などについて栄養教諭の梨木先生と一緒に楽しく学習し、日々の健康を保つ「食」について考えました。この給食週間をきっかけにして、今以上に「いただきます」「ごちそうさまでした」と感謝の気持ちを表せるようになってほしいと思っています。

コロナ禍の対応へのご協力ありがとうございます。

1月末から、本校においても学年・学級閉鎖の対応を余儀なくされています。急な対応で保護者の皆様にはご不安とご苦勞をおかけしていると思いますが、今が踏ん張りどころと思っております。学校では引き続き、手洗い、換気、可能な限り学級単位で学習を行うなどの安全対策に力を入れていきます。ご家庭でも引き続き、朝の検温・健康チェック、体調がすぐれない時の早めの休養、医療機関等への相談などへのご協力をお願いいたします。「コロナに負けない」という強い気持ちで頑張りましょう。